

ALUMINIUM NEWS

アスカ工業株式会社アルミニウムニュース

第 689 号

2018年11月1日

発行

アスカ工業株式会社

〒444-0303

西尾市中畑町卯新田上28

アスカ・セミナーは第 55 回を迎え、10 月 5 日・6 日の両日三河湾国定公園吉良温泉の吉良観光ホテルで盛大に挙行された。5 日午後、天野卓社長の歓迎の挨拶に始まり、寺井正流氏のセミナーを有意義に終了した。

このあと、大懇親会で三河湾の秋の味覚を十分に楽しみ、6 日は早朝から吉良カントリークラブにおいてアスカ杯ゴルフ・コンペが催された。

第 55 回アスカセミナー

どうなる中国のアルミリサイクル産業

～中国による第 7 類品目の輸入禁止後の世界～

阪和興業株式会社 非鉄金属第一部

部長 寺井正流氏

輸入スクラップの分類

国際商品分類基準HSCodeを基礎とする。HS分類の中でスクラップに該当するものだけを取り出し13分類で管理。小分類それぞれに輸入禁止、輸入制限、輸入非制限のどれに属するかが検査方法と共に規定されている。

13 分類の中身

第一類：ゴムのスクラップ

第二類：冶金スラグ

第三類：木材スクラップ

第四類：古紙

第五類：繊維スクラップ

第六類：鉄・非鉄スクラップ（銅、アルミ以外もあり）

※そのまま使用可能な鉄・非鉄スクラップ

第七類：混合金属スクラップ（4種類のみ）

※加工・選別無しでは慣用できない鉄・非鉄スクラップ

第八類：船舶スクラップ

第九類：糖蜜の残渣

第十類：プラスチックのスクラップ

第十一類：雲母ものスクラップ（加工時切れ端）

第十二類：皮革スクラップ

第十三類：シリコンスクラップ

第七類の詳細（雑品屑で4種類）

- ・廃自動車のプレススクラップ
 - ・鉄鋼の回収を主目的とした電気器具スクラップ
 - ・銅の回収を主目的としたモータースクラップ等（モーター・電線・電気器具）
 - ・アルミの回収を主目的とした電線屑等（電気器具）
- 中国リサイクル関連法の変化

①1996年8月1日より施行

廃棄物輸入環境保護管理暫行規定を發布し、輸入スクラップを10種類に大別。更に輸入禁止類、輸入制限類、非制限類を特定。

現地での船積み前検査等、現在の輸入スクラップ管理制度の基礎が出来上がる。

②2017年12月31日より施行

輸入廃物管理目録の改定で廃プラスチック 8種類、古紙 1種類、廃繊維 11種類、バナジウムスラグ 4種類を輸入制限類から輸入禁止類へ変更。

③2018年12月31日より施行

鉄鋼スラグの一部、廃ブラ、自動車プレス、鉄鋼、銅、アルミの解体必要なスクラップ等、計 16種類を輸入制限類から輸入禁止類へ変更。

④2019年12月31日より施行

ステンレススクラップ、チタンスクラップ、木屑等、計 16種類を非制限類及び輸入制限類から輸

入禁止類に変更。

⑤2020年12月31日までは実行希望の制度

2018年6月16日に国務院が「生態環境保護を強化し、汚染対策難関攻略を徹底実施するための党中央・国務院による意見書」を発表。空気・水・土壌を守る戦いを着実に推し進める方針が打ち出された。

その中で「2020年年末までにスクラップの輸入をゼロにする」計画が記載されている。(1類～13類が対象)

環境負荷を軽減する為に、輸入非制限類⇒輸入制限類⇒輸入禁止類へと移行されるスクラップが増加している中で2020年にスクラップ輸入ゼロの計画が実行されれば、加工貿易型の二次合金メーカーは壊滅的な打撃を受けると考えられる。

ただ、13分類のスクラップを工業原料など別の品名で残存する噂もある。

第六類・第七類の輸入の変化

第六類輸入量	2017年	2018年Q1	2018年Q2	2018年Q3	18年四半期平均 ÷17年四半期平均
アルミ屑	1,077,162	480,519	350,000	未発表	154%
銅屑	551,823	335,422	未発表		243%

第七類輸入数量	2017年	2018年Q1	2018年Q2	2018年Q3	18年四半期平均 ÷17年四半期平均
アルミ屑	1,095,203	5,993	1,279	1,504	1%
銅屑	3,005,759	217,273	270,767	237,309	32%

2018年の第六類の輸入数量は著しく増加している。第七類の輸入制限下、第六類で充足したという見

方、第六類に対する新規制（不純物1%以下、2mm以下）が施行される前の駆け込み輸入との見方もある。

一方、第七類は輸入制限品目で輸入ライセンス発行量で管理されている。上記の表を見ると2018年のアルミの発行量が銅に比べて極めて少なくなっているのが分かる。これは輸入スクラップ一大加工地である広東省の中小企業が昨年環境取締で転廃業したことや、国内のアルミ発生量の漸増、第六類アルミスクラップの輸入増加が期待できること、そしてアルミ新塊供給量に余裕があることが要因されている。

中国のアルミリサイクル

①中国でのスクラップ業者の許認可について

(1) 国内での取扱許可の取得条件

- ・環境保護部門における環境評価の許可を取得
- ・商務、工商、税務部門において経営範囲を変更
- ・公安部門にて再生資源回収経営者の届出環境評価の許可を取得するのが極めて困難である。

(2) 輸入許可の取得条件

- ・輸入対象に応じて、輸入制限類、輸入非制限類の許可証を取得せねばならない。
- ・スクラップ輸入の環境保護管理規定の要求を満たした加工利用企業でなければ許可証の申請が出来ない。
- ・スクラップを使用する実需要家であるか、再生金

第55回アスカセミナー

寺井
セ
ミ
ナ
ー



属専用工業団地に拠点構える企業でなければ許可証を与えられない。

国内での取扱許可同様に取得は困難である。

現実的に有効な解決先は、再生金属専用工業団地への進出か、許認可取得企業を買収や合併となる。

②産業廃棄物の処理

中国の産廃処理も厳格化され、正規ルートでの処理を必須とし監視も厳しい。それに、より産廃処理費用は突出した金額になっており、リサイクルコストにそのまま影響を与える。

中国	4000元≒67000円（2年前1000元）
日本	35000円
北米	45ドル≒5000円
タイ	1300THB≒4500円
マレーシア	700元≒11800円
インドネシア	13500円
ベトナム	19000円

（各国調査データの中心価格）

中国二次合金メーカーの動向

①環境規制強化

（1）第六類スクラップへの規制が18年5月1日より施行。「不純物1%以下、2mm以下0.1%以下」で北米品に対して特に厳格に。

（2）輸入港における税関による全数検査

通関完了に要する日数が従来の15日程度が最長1.5

カ月になりコスト増と資金流動性を圧迫させている。検査不合格時の場合、従来は第三国への転売が可能だったが、現在は出発港への返却が必須とされている。

②国際的競争力の減退への対処

スクラップの確保の限界、産廃処理費用の高騰、人件費増と中国の加工型二次合金メーカーの国際的競争力が低迷していくのは否めない。2020年にスクラップ輸入禁止になれば壊滅的となる。対処法として二次合金販売を輸出市場から国内市場にシフトや一带一路を背景にベトナム、パキスタン、ミャンマー等の対象国に工場を建設し、将来的には国外工場から中国に輸出などが考えられている。

③総括

中国の最近の政策はリサイクルよりも環境保護を有先して、その結果、加工貿易型の二次合金メーカーの輸出量は減少していく。中国に代わり一带一路政策の対象国での生産が増加し、中国への輸出も現実的なものとなるが、中国の加工貿易型メーカーに取って代わるまでには量的、質的にまだ時間がかかる。

日本のアルミリサイクルへの影響

日本の二次合金メーカーの存在が見直される。スクラップ発生が潤沢な日本での生産は貴重となり停止中の工場や炉の稼働も十分ありうる。日本の第七類スクラップは日本国内での処理が前提となり、異物異材の選別能力や選別技術の差が競争優位を生むこととなる。（文責・鈴木太輔）

大懇親会



懇親会大盛会

寺井セミナー閉会后、ご参加の皆様は三河湾一望の大浴場で入浴後、大宴会場で大懇親会を楽しんだ。天野卓社長開宴の挨拶につづき、ダイキャスト東和産業株式会社松尾社長の乾杯の音頭で大宴会が開幕、三河湾の秋の味を堪能した。

奥田工業株式会社奥田社長の万歳で閉宴のあと、ナイトサロンへ移動し、秋の夜長を心行くまで美酒とカラオケで楽しんだ。

第30回アスカ杯ゴルフコンペ

10月6日セミナーの翌朝、第30回アスカ杯ゴルフコンペが吉良カントリークラブで開かれ、大熱戦の末下記各位が目出度く入賞した。

優勝 富田 康之氏 (和光アルミニウム)
準優勝 楠本 敏久氏 (阪和興業)
第3位 山田 貢氏 (中日本ダイカスト工業)
BB賞 可知 亨氏 (昌和工業)

皆さんお目出度うございました。

社 内 情 報

◎第55回アスカ・セミナーは講師として、阪和興業株式会社非鉄金属第一部長寺井正流氏には、ご多用のところご出講をいただき、大へん盛大に、又有意義に挙行できました。

厚くお礼を申し上げます。

◎第1回アスカ・セミナーは、1964年(昭和29年)の秋でした。会場は吉良観光ホテルの前身、吉良荘が町営で発足したばかり、判庁町長から玄関で参加者一同大歓迎を受けました。

編 集 後 記

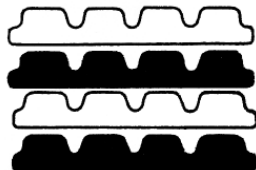
◎秋の最大行事のアスカ・セミナーを、本年も大そう盛大に挙行することが出来ました。

◎お取引先はじめ、多くのご関係先の皆様の大きなご指導とご後援のおかげで、半世紀以上にわたり大へん立派に、継続して開催することが出来ました。深くお礼を申し上げます。

◎社員一同、第100回セミナーが立派に開催できますよう、覚悟を新たにしております。引き続き大きなご支援をいただきますよう期待しております。

アルミ缶リサイクリング
铸造用アルミニウム合金地金

アルミニウムそのものでは強さ、加工性などの点で不十分で、銅、シリコン、マグネシウム、亜鉛、鉄、マンガン、ニッケル等を用途に応じて添加合金しますと、非常に優れた強さ、铸造し易さ、加工し易さ、耐熱性などが得られます。添加金属は非常に微量の場合もあり、そのため厳重な品質管理が要求されます。当社では発光分光分析装置を使用して、迅速・正確な品質管理の下で非常に優れたアルミニウム合金を作り、日本の産業の発展に寄与しています。



ISO 9001 審査登録

アスカ工業株式会社

〒444-0303
愛知県西尾市中畑町卯新田上28
TEL <0563> 77-0500代
FAX <0563> 77-0501
<http://www.al-asuka.jp/>